庇の家

設計：手塚貴晴＋手塚由比／手塚建築研究所、池田昌弘／MASAHIRO IKEDA co.,ltd

左上──デッキ西側から室内を見る
左下──室内からの西側の眺望

東面外観

上──水まわり空間からキッチン方向を見る
下──水まわり空間

都市のダイアグラム

手塚貴晴＋手塚由比
TAKAHARU TEZUKA + YUI TEZUKA

建て主からの依頼は土地を購入する時点から始まった。購入したい土地があるが、土地が道路より低くなっている。道路のレベルまで地面を持ち上げるのにいくらくらいかかるだろうか。

土地は河川敷の東端、かつての護岸のすぐ内側。当初、土地は道路より1.5mほど下がっていて、家を建てるには土地を道路のレベルまで持ち上げたい、というのが建て主の強い希望であった。

土地を持ち上げると西側の眺望が活かせる。西側擁壁直下には、河川敷の名残としての小川が横たわっている。河川敷そのものはすべて開発され一面の住宅地が広がっているが、西側は低いので遥かかなたの新幹線まで視界が開けていた。

西側の眺望を活かしながら、南側の日を採り入れるため、住宅を敷地の北東に寄せ、西側と南側の2辺を思い切り開くこととした。開口部は手塚建築研究所ならではの7枚引きと3枚引きの大型木製引き戸。角には空間を規定してしまう柱すらもない。引き戸を開け放してしまえば、内部と外部の境界は消えうせ、室内に居ながらにしてアウトドア気分が楽しめる。庭は駐車場も含めて全面木デッキ。床面はガラス面を越え、敷地境界まで延びてしまう。

この住宅で最も境界を規定する力を保持しているのは敷地である。外壁同士は直角の関係を保っていない。外壁は敷地境界を平行移動した結果である。内部空間は、その諸室が属する壁面から同様の論理で立ち上げている。よって寝室は粗長方形の部屋であるし、キッチンも同じ幅の廊下を持つ、実に機能的な平面形である。

その結末として、敷地そのものが漫然として持ち合わせている歪みが、建物空間の中心に寄り集まることになる。建物空間の中心とはリビングである。リビングは諸室の中で最も公共性の高い空間である。いわば広場といってよい。

これはちょうどヴェニスの街並みの中に生じている不定形な広場の成り立ちに近い。ヴェニスの建物は運河に面して正面玄関を向けるのが原則であるから、運河から法線、すなわち直角に普通に建物を延長していくと、運河同士は平行ではないので建物の尻同士に挟まれた居残りの部分は不定形になる。結果として生まれる空間は、偶発的でありながら都市のダイアグラムの蒸留物である。

デッキは都市の延長であるから車が入ってくる。都市の広場同様、デッキ面積のすべてが駐車場としても利用可能である。

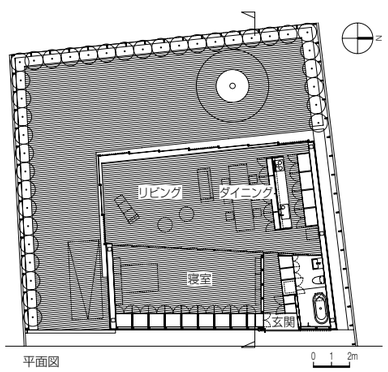
元来、都市の道は、縁石が規定するものではない。道は建物の連なりが決めるものである。健康な都市空間で建物は敷地の中に場を探すのではなく、都市のダイアグラムの中に身をゆだねる。

□水まわり空間について

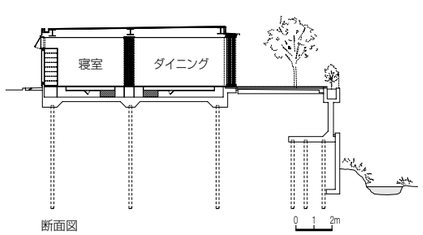
生活空間の開放性に対応し、水まわり空間も引き戸を開けると開放的になる。パーティションと天井との間は大きく空いており、空気はつながっているが、浴室の湿気は空間のボリュームが大きいために問題にならない。また、音についても、この住宅では浴室と寝室の間に玄関があるため、その心配は不要である。

水まわり空間の床は段差を設けず、水勾配は最低1/50を確保して水処理した。浴室と一体となったトイレにはデザインがシンプルで、かつ機能性の高い「サティス」を置いた。✽

てづか・たかはる──建築家・手塚建築研究所／1964年生まれ。1987年、武蔵工業大学卒業。1990年、ペンシルバニア大学大学院修了。1990〜94年、リチャードロジャース・パートナーシップロンドン勤務。1994年、手塚由比と手塚建築研究所を共同設立。現在、武蔵工業大学助教授。
てづか・ゆい──建築家・手塚建築研究所／1992年、武蔵工業大学卒業。1992〜93年、ロンドン大学パートレット校。1994年、手塚貴晴と手塚建築研究所を共同設立。現在、東洋大学、東海大学非常勤講師。
主な作品：副島病院（1996）、辻堂の家（1999）、鎌倉山の家（1999）、川越の音楽マンション（2000）、裏原宿のビル（2000）、屋根の家（2001）、方南町L（2002）、越後松之山「森の学校」キョロロ（2003）など。



平面図



断面図

■建築概要

名称：庇の家
所在地：埼玉県さいたま市
設計：手塚貴晴＋手塚由比／手塚建築研究所、池田昌弘／MASAHIRO IKEDA co.,ltd
施工：大勝建設
家族構成：夫婦＋子供2人
敷地面積：297.61m²
建築面積：119.57m²
延床面積：119.57m²
規模：地上1階
構造：S造
工期：2005.6〜2006.3

●INAX使用商品●便器：サティス、紙巻器：FKF-32F/C